

## 技 術 概 要 書

技 術 名	〇 〇 工 法	区 分	工 法
副 題	機械攪拌式スラリー工法		
工 種 分 類	共通工 → 深層混合処理工		
開 発 者	(株)〇 〇 建設		
開 発 年	〇〇〇〇	特許・実用新案 第三者評価・表彰等	特許：第〇〇〇〇号 〇〇〇
施 工 実 績	国土交通省	その他公共	民 間
	〇件	〇件	〇件

### NETIS申請上の従来技術

名 称	スラリー攪拌工
技 術 概 要	深層混合処理工を施工するにあたり大型特殊機械によるスラリー攪拌地盤改良工法か、ボーリングマシンによる高圧噴射攪拌工法で対応

### 新 技 術

概 要		セメント、セメント系固化材をスラリー圧送し、トレンチャー式攪拌機を用いて、原位置土と鉛直方向に攪拌混合しながら水平移動させ連続且つ均質な改良体を造成する技術である。
	(特に効果の高い適用範囲)	狭隘や上空制限がある作業エリア、傾斜地等で施工する場合。
技 術 の 売 り	技術面のアピールポイント	①日当り施量が多いので低コストで大幅な工期短縮となる。 ②互層の原地盤(深度方向の土質のバラツキ)も鉛直攪拌混合は改良深度全域を均質な改良体に造成する。 ③鉛直攪拌混合はトレンチャーの回転に沿って上部へ応力解放されるので低変位の工法である。
	活用の効果	三点式杭打ち機では作業できない狭隘な現場や傾斜地においても施工が可能であり、転倒・接触事故が無く安全性に優れている。
技術の成立性		施工実績は多くあり、技術は実証されている。